

ファシリテーションを活かした 人やまちが元気になる企画力アップ講座

9月28・29日の2日間、人まちファシリテーション工場のちょんせいこさんを講師に、企画力をアップするための講座を開催しました。大阪府内をはじめ京都・奈良・佐賀から、行政、福祉、教育、市民活動の方たち24人が参加されました。

会議を進めるファシリテーションとホワイトボード・ワークの基礎を学び、そのスキルを使って、参加者の直面している課題を題材に、現状と問題点の洗い出しと解決策を参加者どうしで考えるなど、実践的な学び合いの場となりました。



『明日を生きる―人権ポケットエッセイ<2>―』発刊



いじめ、就労、貧困、ひとり親、教育、まちづくり…。現代の直面する人権課題に、各分野で活躍する24人の熱い思いと提言をつづる…、人権エッセイ集です。ぜひご活用ください。

<人権教育>森実／大賀喜子／中田豊子／大井真基子
<いじめ>田中文子／横田康生／森田洋司／大沢秀明
<働く>田中俊英／水越洋子／中村信彦／脇本ちよみ
<就労支援>橋井幸子／加藤秀樹／福原宏幸／逸見大輔
<ひとり親>中野冬美／大森順子／植田香代子／中村実
<まちづくり>中川幾郎／中井和真／岡知彦／塩谷幸子
価格：1,200円＋消費税

―私と人権とのつながり再発見― 参加体験型人権・部落問題(RAAP)プログラム ファシリテーター養成講座(第2期)

RAAP(ラップ)プログラムとは、Rights(権利)…自分と人権・部落問題とのつながりを見つけ、Action(行動)…人権を守る行動へと結びつく学習を、Active Learning(参加型学習)…参加体験型学習で展開し、Participation(参画)…人権社会づくりに積極的に関わることをめざす人権学習プログラムです。

人間関係づくり(2つ)、人権概念を学ぶ(3つ)、部落問題(2つ)のプログラムが実施できるファシリテーターを養成し、地域や職場、学校などの人権学習や人権研修で実践をしていきます。

○日時：1月15日(土)・16日(日)、1月29日(土)・30日(日)、2月11日(祝)・12日(土)[予定]

○会場：HRCビル

○講師：上杉孝實さん(京都大学名誉教授)
大谷眞砂子さん(八尾じんけん楽習塾)
栗本敦子さん(Facilitator's LABO(えふらぼ))
森実さん(大阪教育大学)

○定員 25人(先着順)

○参加・資料代 50,000円*分割等支払方法が相談に応じます

自殺防止サポーター養成講座

全国の自殺者が年間3万人を超え、大阪府においては2千人を超える状況の中、多重債務問題やうつ病、依存症等の問題などが原因となって自殺を考える人々を相談事業の中で発見し、専門機関につないだり必要な支援を行ったりする「自殺防止サポーター」の養成講座を行いました。2日間5講座を48名が受講し、37名が全講座を修了しました。

9月10日は、「死にたいと相談されたら①」と題して、澤井登志さん(大阪自殺防止センター所長)が、「精神疾患と自殺」として石田徹さん(社団法人大阪精神科診療所協会理事)が講演を行いました。

9月17日には、「多重債務と自殺」として、広中照美さん(NPO法人多重債務による自死をなくす会「コアセンター・コスモス」理事長)が、「死にたいと相談されたら②」として、横田康生さん(NPO法人国際ビフレンダーズ大阪自殺防止センター副理事長)と澤井登志さんが、講演と演習を行いました。



賛助会員の募集と寄付のお願い

財団法人大阪府人権協会が行う、被差別・社会的マイノリティの人権を柱とする人権啓発、人権相談・支援、ネットワークづくりを支えていただける賛助会員の募集と寄付のお願いをしています。

賛助会員には、日常的な人権に関する相談や人権研修の相談、講師派遣、「人権協会ニュース」の送付、各種講座・研修会・講演会等のご案内をいたします。また、当協会の出版物・講座参加費の割引等もあります。

何卒、ご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。
会費および寄付は、郵便振替口座に振り込んでください。

口座名：財団法人大阪府人権協会
口座記号番号：00930-8-272377

賛助会員	個人	1口	5,000円
	団体・法人	1口	30,000円
寄付金	個人	1口	1,000円
	団体・法人	1口	10,000円

